

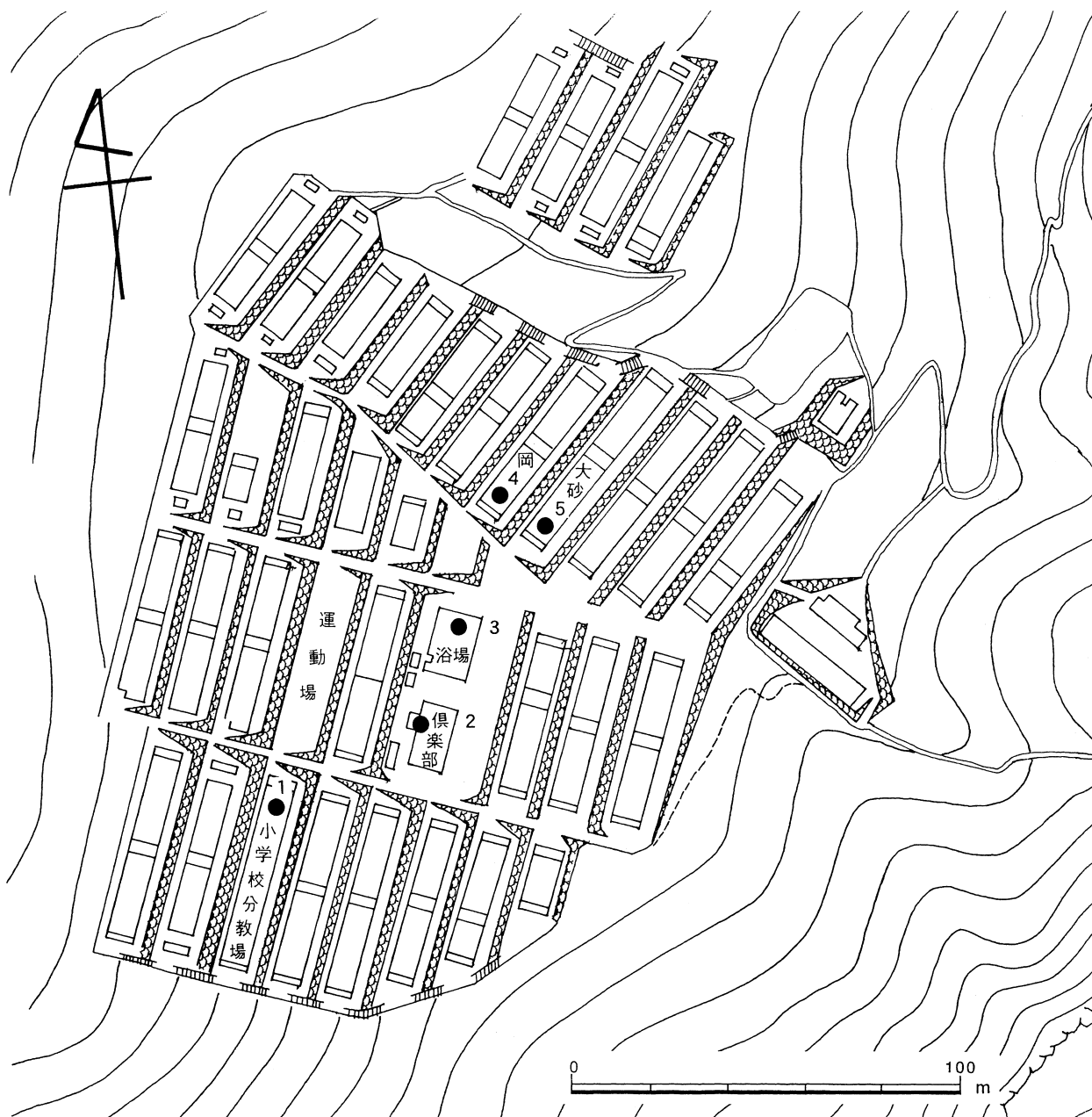


図16 昭和初期の鹿森（図2枠線を拡大） 別子銅山記念館所有資料 1／1,200端出場付近地形図（昭和23年3月15日）
及び井上氏からの聞き取りをもとに作成

	押入	6畳	玄関	火	● 2 炊事場	浴場	物置
● 3 手洗	床			1	6畳	3畳	押入
	廊下		3畳				

図17 打除社宅見取り図 別子銅山記念館所有資料 打除社宅家屋調査書より作成

表5 労働者1人1カ月あたり実質賃金（大正13年末）
住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史下巻。
住友金属鉱山株式会社、東京、p111より作成

（単位：円）

職 種		男 子	女 子
坑 内	支柱夫	81.51	—
	削岩機夫	71.84	—
	坑夫	66.95	—
	負夫	61.18	—
	その他	60.66	—
坑 外	機械夫	52.14	23.96
	運搬夫	58.77	13.78
	選鉱夫	50.08	20.01
	製錬夫	61.58	18.53
	その他	48.83	23.80
全 平 均		55.27	

右の奥にそれぞれ湯船の跡がある。別子では、職員やその家族が無料で入れる共同浴場をいたるところに設置していたため、ここも共同浴場として利用されていたものと思われる。

お わ り に

今回、端出場周辺で行った調査では、15項目において産業遺産（遺構も含む）の残存を確認した。中心部に観光施設ができていたこともあり、水力発電所や大斜坑、第四通洞などの解説は行われていたが、貯鉱庫、電話交換所などの解説は行われていなかった。また、当時注目を集めていた水力発電所も、立ち入り禁止になっている。できれば、水力発電所内も公開して、シーメンスの発電機等を見学できるようになればよいと思う。鉱山鉄道下部線の廃線跡も、現在、立ち入りが禁止されている。事故の可能性などを考慮しての立入禁止であると思うが、川岸の危険なところには柵を設けるなどの工夫をして、気軽に散策できる遊歩道にすれば、もっと多くの人が産業遺産に触れることができる。産業遺産は残すだけでなく、その資料の価値を把握し周知することが、後世までの資料存続につながる。その資料の状況を把握するためにも、今後も産業遺産の調査を継続して行いたい。

謝 辞

現地調査及び情報収集に御協力を頂いた住友共同電力株式会社・住友金属鉱山株式会社・住友林業株式会社・株式会社マイントピア別子、電話交換所についての情報を頂いた秋山義隆氏、情報の提供及び御助言を頂いた伊藤玉男氏・小川静雄氏・高橋幹氏をはじめとする山村研究会の方々、資料・情報の提供及び御助言を頂いた別子

銅山記念館に対し、厚く御礼を申し上げます。

また、現地調査に何度も同行して頂くとともに、資料・情報収集に御協力頂き、草稿を御校閲賜った井上省二氏に、心から感謝の意を表します。

参考文献

- 鉱山懇話会（1993）：日本鉱業発達史。原書房。
横山昭市（1974）：別子銅山と鉱業集落に関する総合研究、愛媛大学地域社会総合研究所。愛媛。
住友金属鉱山株式会社（1991）：別子300年のあゆみ。住友金属鉱山株式会社。愛媛。
泉寔（1994）：私のなかの旧別子。株式会社近代文芸社。東京。
坂本勲（1990）：銅山に賭けた男たち。日経事業出版社。東京。
戒田淳（1972）：別子閉山。愛媛地方史研究会。愛媛。
小和田淳（1993）：日本銅鉱業史の研究。株式会社思文閣出版。京都。
住友商事株式会社広報室（1985）：住友の風土。住友商事株式会社。東京。
藤本鐵雄（1993）：明治期の「別子」そして住友。株式会社お茶の水書房。東京。

注

- （1）産業遺産とは、近代の国民の生活を支えてきた産業に関する機械・施設等を指す。近年、文化庁・通産省・各地方公共団体でも産業遺産の調査・研究が全国的に進められている。（産業考古学会（1994）：日本産業遺産300選。同文館出版(株)。東京。240pによる）
- （2）採掘した鉱石を坑道内から運びだし、選鉱などをするため、あらゆる施設が集中している採鉱部門の拠点
- （3）住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史下巻、住友金属鉱山株式会社。東京。p 164
- （4）武田晴人（1987）：日本銅業史。（財）東京大学出版会。東京。p 268
- （5）合田正良（1974）：別子銅山。新居浜観光協会。愛媛。p 24
- （6）鉱石を運ぶための専用車

- (7) 井上省二氏からの聞き取りによる 別巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 141
- (8) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
下巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 64
- (9) 井上氏からの聞き取りによる
- (10) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (11) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (12) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
上巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 466
- (13) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
上巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 432
- (14) 新居浜市（1996）：歓喜の鉱山～別子銅山と新居
浜～、新居浜市、愛媛、p 111
- (15) 別子銅山記念館（1978）：別子鉱山鉄道略史、別
子銅山記念館、愛媛、123 p
- (16) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
下巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 251
- (17) 伊藤玉男氏からの聞き取りによる
- (18) 朝日新聞松山支局（1974）：別子物語、朝日新聞、
愛媛、p 136
- (19) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
下巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 65
- (20) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (21) 明治38年に第三通洞～東平～端出場～山根經由新
居浜と、坑水路が敷設された。（住友金属鉱山株式
会社（1991）：住友別子鉱山史下巻、住友金属鉱
山株式会社、東京、p 8）
- (22) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (23) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (24) 秋山義隆氏からの聞き取りによる
- (25) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
- (26) 平塚正俊（1941）：別子開坑250年史話、株式会
社住友本社、大阪、p 374
- (27) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
上巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 165
- (28) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (29) 下中弘（1988）：世界大百科事典20、平凡社、東
京、p 454
- (30) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (31) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
上巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 309
- (32) 内訳：削岩機夫 7 人、負夫12人、溝切坑夫 1 人
- (33) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (34) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
上巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 47
- (35) 合田正良（1957）：別子今昔物語、新居浜郷土文
化研究会、p 75
- (36) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
上巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 319
- (37) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
下巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 318-319
- (38) 住友共同電力株式会社による
- (39) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
下巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 31
- (40) 住友共同電力株式会社による
- (41) 住友共同電力株式会社による
- (42) 現在の住友共同電力株式会社の前身
- (43) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史
下巻、住友金属鉱山株式会社、東京、p 83

- (44) 住友共同電力株式会社による
- (45) 管を数える単位
- (46) 小口川第三発電所のこの落差は、当時世界最高であり現在も国内一である。
(住友共同電力株式会社による)
- (47) 住友共同電力株式会社による
- (48) 住友共同電力株式会社による
- (49) 株式会社マイントピア別子による
- (50) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (51) マイントピア別子を建築する際、このコンクリート製の柵だけだと、保安基準をクリアしないため、その上部に柵を継ぎ足して、このコンクリート製の柵を残した。
- (52) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (53) 芥川三平（1990）：別子銅山物語．正岡慶信．愛媛． p 111
- (54) 井上省二氏からの聞き取りによる
- (55) 住友金属鉱山株式会社（1991）：住友別子鉱山史 下巻．住友金属鉱山株式会社．東京． p 115
- (56) 新居浜市（1996）：歓喜の鉱山～別子銅山と新居浜～．新居浜市．愛媛． p 111
- (57) 住友林業株式会社による
- (58) 新居浜市（1996）：歓喜の鉱山～別子銅山と新居浜～．新居浜市．愛媛． p 111

Plate 1



1



2

1. 昭和初期の端出場※ 2. 昭和初期の端出場※

Plate 2



3



4



5



6



7



8



9

3. 昭和40年代の端出場※ 4. 現在の端出場 5. 貯鉱庫 6. 貯鉱庫下
7. 貯鉱庫手前のトンネル上部跡 8. トンネル 9. 大斜坑用貯鉱庫